

歯科診療情報の標準化 に関する検討会(第7回)

平成27年度モデル事業の進捗状況

日時:平成27年11月25日(水)13:00

場所:厚生労働省専用第21会議室

一般社団法人 新潟県歯科医師会

東日本大震災の身元確認

- 歯による身元確認の有効性が実証された(例:宮城県の身元確認手段は、①身体特徴・所持品等が約86%、②歯が約10%、③DNAが約1%、④指掌紋が約3%)。

浮き彫りになった課題

①【**歯科診療情報の消失**】

震災では、津波等によって歯科診療情報が失われる事態が多発した。また、平時にも、多様な理由によって貴重な歯科診療情報が失われる。歯科診療情報の保存・バックアップのしくみを早急に整備することが不可欠。

②【**行方不明者の口腔状態の推定と検索に係る作業**】

歯科医療機関から紙媒体の診療録を入手し、多大な労力をかけて解読する必要があった。対象者の口腔状態の推定と検索データの作成に膨大な時間を要した。

平成27年度厚生労働省実証事業

1. データセット(階層構造)の拡張

- 昨年度に定義した「口腔状態標準データセット」は、主として身元の検索(スクリーニング)が目的
- 本年度は、歯科レセコン・電子カルテ等のシステムから、できるだけ多くの身元確認に資する情報を抽出・保存することを目的としてデータセットを拡張

2. 拡張したデータセットのフィジビリティ検証

- 拡張したデータセットの表現能力を総合的に検証

3. データバックアップの検討

- 歯科情報の保管・バックアップについて検討

4. 歯科レセコン等への実装に向けた検討

- レセコン等への機能搭載に向けたデータ仕様を検討

1. データセット(階層構造)の拡張

- 昨年度事業で策定した「口腔状態標準データセット」を拡張して、身元確認に資する、できるだけ多くの歯科情報を網羅するようにデータセットの表現能力を向上
- レセコンや電子カルテ等の歯科医療情報システムから身元確認に資する情報を抽出し、災害等の緊急時に備えて情報を保存(バックアップ)することが目的
- ANSI/ADA仕様1058およびISO/TC106が現在策定中のデータセットと同程度の分解能(情報粒度)を実現し、海外の標準規格との整合性についても配慮
- ただし、海外とは異なる日本の優れた保険診療制度を十分に考慮した、先進的なデータセットの構造を定義

ISO/TC106が策定中のデータセットと 身元確認に資する歯科情報(標準データセット)

ISO/TC106が策定中の データセット

- **Tooth Status**
- **Mouse Status**
 - **Periodontal Data Set (歯周)**
 - **Positional Data Set (咬合)**
 - **Prosthetic Data Set (補綴)**
 - **Hard Tissue Data Set (硬組織)**
 - **Soft Tissue Data Set (軟組織)**
- **Material**

身元確認に資する歯科情報 (標準データセット)

- **歯のデータセット**
- **有床義歯のデータセット**
- **ブリッジ・連結冠のデータセット**
- **矯正装置のデータセット**
- **材料のデータセット**
- **口腔病理のデータセット**

別紙A3版資料

- ①身元確認に資する歯科情報(全体像)
- ②検索のための記述子

データセットの概念図

身元確認に資する歯科情報(標準データセット) 資料3-1

- 個人識別に役立つ歯科所見の全体(歯の状態、補綴装置、口腔病理等)
- 本格的な電子カルテ等からの情報抽出を想定(自費診療の情報も含む)

レセコンから抽出可能な歯科情報 資料3-1・赤枠

- レセコンからの情報抽出を想定(保険診療に関連する情報のみ)
- 実際には当該医療機関で治療を行った歯の情報のみが反映する場合が多い

検索(スクリーニング)のための歯科情報 資料3-2

- 比較的簡易な特徴記述子のみ
- 5分類検索、26項目検索など

今回の範囲外の歯科情報

- 画像情報(口腔内写真、X線写真等を含む)
- その他の情報(模型などを含む)

2. 拡張したデータセットのフィジビリティ 検証

- 今年度拡張したデータセットの表現能力を総合的に検証する**

3. データバックアップの検討

- 歯科情報の保管・バックアップについて検討**
- データの保存場所や、媒体・保存方法等について、想定される事例を提示**

4. レセコン等への実装に向けた検討

- レセコン等への機能搭載に向けたフォーマットを検討
- 歯科医院のレセプトコンピュータや電子カルテに身元確認の支援機能を搭載することが可能に

標準化された
データ

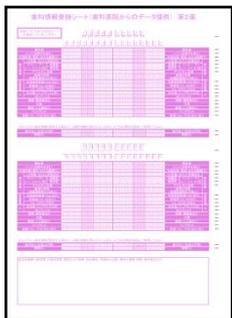


患者の最新の口腔内の
状態を書き出す機能

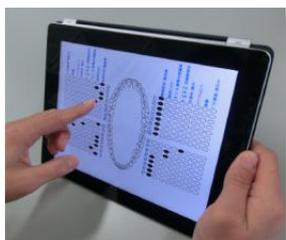
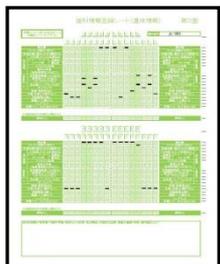
※歯科医院で追記・修正も可とする

歯科情報に基づいて
個人を検索する機能

標準化によって可能になるもの



デジタル歯科情報のお預かり・お渡し



災害・事故等緊急時情報提供の迅速化



歯科データバックアップ

標準化



標準化

標準化

標準化

互換性のある歯科情報



標準化

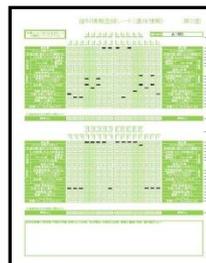
歯科データベース事業の展開
地域・医療連携

標準化



歯科健診所見のデジタル保存

標準化



身元不明者の検索
行方不明者情報提供